

北九州 市議会 だより

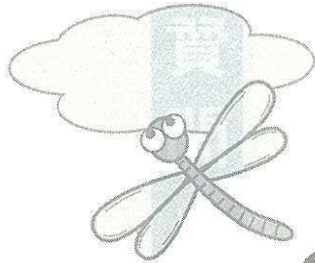
PRESS

No. 151

平成12年10月15日号
(年4回発行)

おもな内容	ページ
本会議での質疑・質問	2～5
決算特別委員会での質疑 (特集)高校生議会	5 6～7
請願・陳情と意見書など	8

9月定例会で11年度各会計決算を認定

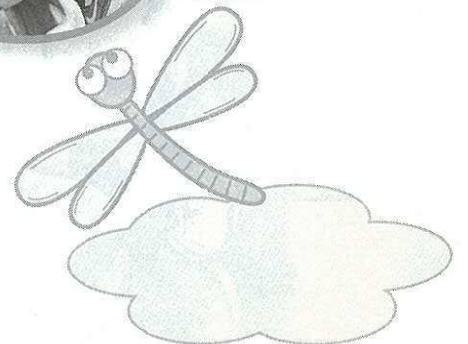


市議会の虚礼廃止にご理解を！

公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。

- 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会がお中元やお歳暮をすること
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと
(自筆の答礼は除く)
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか市議会では、祝電、弔電の自粛を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。





9月定例会

本会議の質問と答弁

9月定例会は、9月6日から9月29日まで開かれました。市長から50件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決しました。また、議員から提出された議案は11件で、うち5件を可決しました。

本会議では、各党派から次の20人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 馬場 一榮 (社市民民連合) | 江島 勉 (民主 党) |
| 平山 政智 (自市民民クラブ) | 水町 勝利 (日本共産党) |
| 荒川 徹 (日本共産党) | 宮田 義高 (市民 21) |
| 橋本 和生 (日本共産党) | 長野 敏彦 (社市民民連合) |
| 加来 茂幸 (自市民民クラブ) | 木村 正幸 (自市民民会議) |
| 蔵田 博 (自市民民会議) | 森 浩明 (新しい風) |
| 福島 司 (社市民民連合) | 吉河 節郎 (公 明 党) |
| 西 豊磨 (公 明 党) | 桂 茂実 (公 明 党) |
| 堀口 勝孝 (市民 21) | 有馬 和子 (日本共産党) |
| 原田 里美 (日本共産党) | 田 仲 一雅 (自市民民会議) |

財政運営の基本的な考え方は？

議員 少子・高齢化が急速に進展し、財政需要構造や人口動態等に課題のあるなか、自主財源に乏しい本市の今後の財政運営の基本的な考え方を聞きたい。

財政局長 今後の財政運営に当たる市税等の収入率の向上に努めるとともに行政改革により経費や財政負担の軽減に努め、さらには財源を有効活用するため施策の厳しい選択を行っていく。また、可能な限り国庫補助金等を確保するとともに、地方交付税措置のある有利な市債等を活用していきたい。さらに、本市の財政が地域経済に与える影響も勘案しつつ、直面する課題に迅速かつ適切に対処できるよう今後とも健全な財政運営に努めていく。

行財政改革の今後の取り組みは？

議員 本市の行財政改革については、過去四年間で三百五十六億円もの大きな効果を上げ評価できるが、国、地方を通じて厳しい財政状況が見込まれるなか、今後どのように取り組んでいく考えか。

市長 今後の行財政改革は、民間経営のあり方を参考にし、コスト感覚、利用者の視点に立った行政サービスの質の確保等に留意しながら進めたい。そのための具体策として、維持・補修まで含むリース化の推進、総事業費を考えた委託化の展開、貸借対照表など企業会計手法の活用、IT（情報技術）を活用したコスト削減や窓口業務の改善等を検討している。また、近隣市町村との連携による行財政改革にも取り組んでいきたい。

介護保険制度

▼評価委員会の評価基準は▲

議員 今回の条例改正において、「介護サービス評価委員会」を設けるようだが、評価の基準や方法、評価結果の公表はどのようなのか。

保健福祉局長 介護サービスの評価基準は、施設、設備、職員配置等の外形的なものではなく、事業者をより良いサービス水準へ誘導するためのもので、サービスの質を向上させる取り組みや利用者との状態に応じたサービス提供計画など百項目程度からなる。また、評価の方法は、中立性や公平性等を確保するために、実地調査部門と評価決定部門に分かれている。なお、評価結果は、利用者がサービス事業者を選択する際の情報の一つとして公表する予定である。優れた取り組みや改善を要する点なども公表したい。

▼制度の周知は▲

議員 十月から介護保険料の徴収が始まるが、徴収の通知後、一万件以上の問い合わせがあったようだ。制度の周知が必要ではないか。

保健福祉局長 保険料の円滑な納入に向け、市民に、介護の問題は誰でも身近に起こり得る問題であることなどを説明して、制度の趣旨を十分に理解いただくことが必要である。このため、出前トークや出前講演を引き続き実施するとともに、パンフレットや市政だより、ポスターなどで制度の周知に努めたい。

▼償還払い方式の見直しは▲

議員 福祉用具の購入や住宅負担感が大きく利用しにくい。利用者の負担感を軽減する対策が必要ではないか。

保健福祉局長 介護保険制度には高額あり、一定の自己負担限度額が定められている。この限度額を超えた部分は、後日市から利用者へ払い戻されることとなるが、本市では、利用者の負担感の軽減のため高額介護サービス費等貸付事業を設け、利用者が自己負担限度額以上の支払いを行わずにサービスを利用できるようにしている。福祉用具の購入や住宅改修についてもこの事業を活用し、利用者の負担感を軽減するなど、利用しやすい方を講じていきたい。

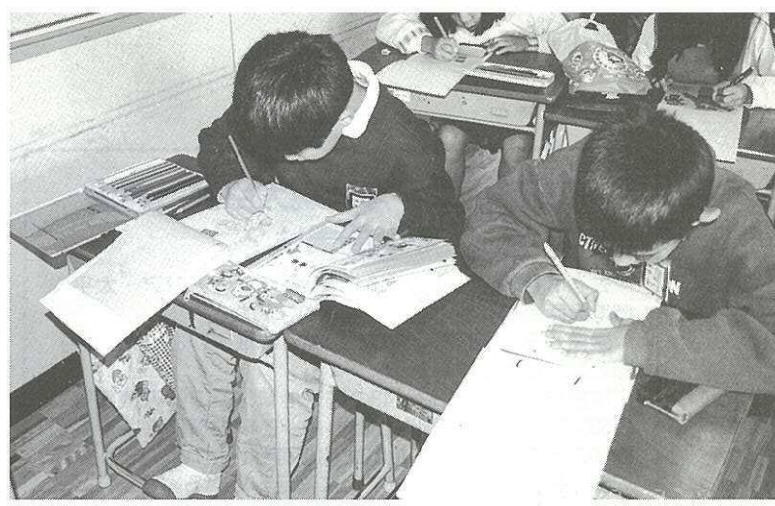
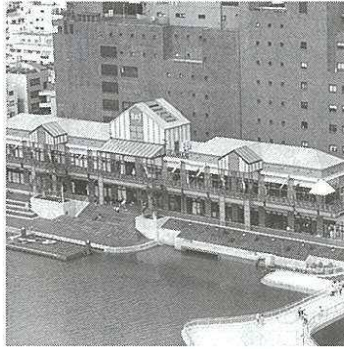


水環境館の利用状況と今後の展開は？

7月25日に開館した水環境館について、議員から「利用状況、市民の反応はどうか。また、今後の施設の活用方法、改善点について聞きたい」との質問がありました。

建設局長は「開館以来、幅広い年齢層の利用があり、8月末までの入館者数は約20万人と、年間予想数の2倍を超えた。有料となった9月以降も、当初見込みの3倍を超える1日平均約1,000人の入館があり、今後も市内外の小学校や自治会等から多数の利用が見込まれている。入館者へのアンケートでは、一部に『水が濁っている。魚がよく見えない』等の内容もあったが、『川をもっときれいにしたい』『新たな展示を期待している。とてもよかった』という意見が多数を占めた。水環境館は

市民のアイデアが実現した施設であり、ホームページでの意見、感想募集など、常に情報収集に努め、市民要望に応えられる施設、また、市民が気軽に展示等に参画できる施設にしたい。なお、国内外を問わず、幅広い範囲から来館者が予想されるため、外国語による説明案内板の設置やパンフレットの作成等を検討していきたい」と答えました。



教室暖房導入と子ども達の成長

議員 今回の補正予算に、小学校の教室暖房の経費が計上されている。暖房の導入には賛成だが、成長期にある子ども達の基礎体力や耐性等に影響しないのか。

教育長 本市では、少子社会懇談会の提言、議会や教室暖房検討委員会の意見等を踏まえ、教育環境の整備という観点から、今年の冬より全小学校に暖房設備を整備することとした。ただし、子ども達の自律神経を鍛えること等が大切であるという

考え方は従来と変わってなく、教室暖房は徹底した温度管理のもと、特に寒い日に限って実施する予定である。今後も、子ども達の耐性等を養うために、休み時間以外で遊ぶよう指導するとともに、体育など教室外での学習の時間を有効に活用して、寒さに負けない体づくりに取り組むよう積極的に指導していきたい。

企業倒産の防止策について

議員 企業の倒産防止への取り組みとその効果は。また、融資以外の有効な対策はないのか。

局長 企業倒産の防止策として、本市は倒産関連防止資金や緊急経営安定資金など各種の融資制度の新設や拡充を行い、十分な貸付枠を確保している。また、国の対策である金融安定化特別保証制度では、専任の中小企業診断士を配置し、金融機関等に対して積極的に柔軟な対応を要請している。その結果、この制度の利用企業は延べ一万二千社、貸付総額は千九百億円を超えている。さらに、本市の倒産関連防止資金にも、五十八件の申し込みがあり、連鎖倒産の防止に役立っている。

議員 融資以外の対策としては、中小企業の技術開発や販路開拓、まちづくりと一体となった商店街振興や人材育成などハード・ソフト両面からの支援を行っている。

中高一貫教育について

議員 中高一貫教育についての基本的な考えは。

議員 また、本年七月、本市の中高一貫教育研究会議からそのあり方について第一次報告がなされたが、今後の導入予定は。

教育委員 中高一貫教育は、高校入試に左右されることなく、中・高の六年間に計画的、継続的な教育指導が展開でき、社会性や豊かな人間性を育成できるなど多くの特色がある。また、一般の中学校と中高一貫教育校を生徒等が希望に応じて選択できることは、中等教育の一層の多様化を推進し、意義深いと考えている。

教育長 研究会議では、今後、中学校と高等学校の接続に着眼した教育課程や、学校運営のあり方等について議論を進め、今年度中に最終報告をまとめる予定である。本市としては、それらの内容や福岡県が行う「県立高等学校再編整備計画」を見ながら導入を検討していきたい。

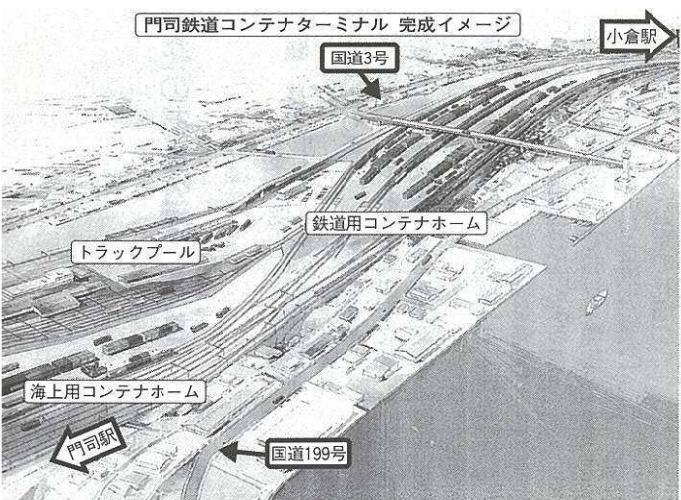
門司鉄道コンテナターミナルの整備

議員 門司鉄道コンテナターミナル整備事業の進捗状況は。また、工事等の地元企業への発注状況はどうか。太刀浦や

市長 この事業は、第二セク市の補助金等により進められている。本年度は、国から当初要望額以上の補助金が配分されたため、全体の六割を達成できる見込みとなった。来年度の国の予算要求が認められれば、予定どおり十四年度開業が実現できると考えている。

企画・学術振興局長 昨年度、地元企業へは、既存の建物や軌道の撤去工事など契約金額の九二%が発注されている。今後も地元企業への発注を働きかけていきたい。

また、国際港湾としての太刀浦や響灘と鉄道との連携を図るため、ターミナル内に海上コンテナ用のホームを整備するとともに、JR貨物へ海上コンテナの取扱量を増やすよう働きかけた。

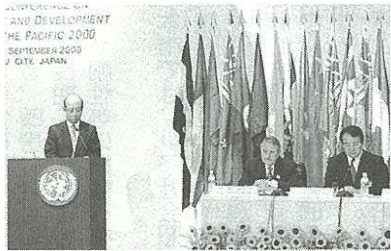


アジア・太平洋環境大臣会議開催 その成果は？

去る8月31日から9月5日にかけて、「アジア・太平洋環境大臣会議」が本市で開催されました。

議員から、「会議開催でどのような成果があったのか」との質問がありました。

市長は、「会議には、43の国・地域、33の国際機関等から500名を超える参加者があった。各国の環境大臣や関係機関の代表者も出席した公式協議等が行われるなど、本市で国際会議を開催できたことに満足している。さらに「北九州イニシアティブ」の承認は、環境改善や国際協力への本市の取り組みや実績が、各国の環境改善に役立つことを認識していただいたということであり、大きな意義があると考えている。この承認を契機に、今後の環境国際協力を、国や関係機関と連携を強化しながら、積極的に推進したい」と答えました。



※北九州イニシアティブ（発案）
今後5年間のアジア・太平洋における「地域行動計画」を着実かつ効果的に実践していくための指針。

新婚世帯・母子世帯の 優先入居

▼市営住宅▲

議員

若者の市内定住策の一として、市営住宅の新婚世帯に対する優先入居枠を増やしてはどうか。また、増加傾向にある母子世帯の優先枠を拡大するべきではないか。

建築都

市営住宅では、新婚世帯向けに新築住宅の優先枠を確保しているが、今後早い時期に、この優先枠を空き家募集へも拡大することはない。

また、母子世帯については、優先入居を認める特定目的住宅として別枠で募集を行っており、一般公募にも重ねて応募できるように配慮

慮している。しかし最近、離婚数の増加などにより、応募件数が増えてきているので、次の定期募集から母子世帯枠の拡大を図りたい。

JR新駅の設置を！

▼八幡西区力丸地区▲

議員

八幡西区力丸地区では、区画整理事業による人口の増加や学術研究都市の整備の進捗により、JR新駅設置の要望が高い。その見通しと本市の経費負担についての考えは。

市長

これまでの地元の熱意や努力の甲斐もあり、具体的内容をJR九州と協議する段階に至っている。現在、駅の位置や規模、スケジュールなどを含めた事業計画の取りまとめを行っており、合意も近いと考えている。

学童保育クラブの 充実を！

議員

学童保育クラブについては、全小学校区に設置することを基本として、設置基準を見直してはどうか。また、開

設時間の延長や対象年齢の拡大に取り組み考えはあるのか。

保健福 本年七月に少子社会懇
社局長 談会から「総合的な少

子社会対策の推進へ向けて」と題した提言がなされ、この中で、各小学校区へ学童保育クラブの設置を進めること、開設時間の延長、対象年齢の小学校高学年までの拡大、障害児の受入れなどが求められている。この提言の趣旨を尊重しながら検討を行い、本年十一月頃に策定予定の「仮称」新子どもプラン」に可能な限り施策として盛り込みたい。

レプリカとして保存します！

▼旧陸軍小倉造兵廠跡地給水塔▲

議員

戦時資料を後世に受け継がせるための収集・保存対策が重要となっているが、原爆投下予定地であった旧陸軍小倉造兵廠跡地給水塔の保存・展示はどうするのか。

総務 この給水塔解体時に、局長 「その一部を保存する

などにより小倉造兵廠があった事実を示す」ということを市民団体と合意したため、その設置場所や大きさなどについて協議を進めてきた。その結果、給水塔はコンクリートの劣化が進んでおり、そのまま保存することが出来ないことから、大手町公園に、高さ二メートル程度のレプリカを設置する」ということになった。十三年度中に実現できるよう努力したい。

花のある公園づくり

議員

少子高齢化により最近、利用の少なくなった公園を見かけるが、公園を雑草などから守り、リフレッシュするため、市民の協力を得る施策が必要ではないか。

建設

本市では、地域ニーズに対応した公園整備策の一つとして、市民参加による花壇づくりに取り組んでおり、現在、「花咲く街かどづくり推進協議会」により百八十三の公園で花壇づくりが行われている。

今後は、自治会や公園愛護会などと連携をとり、新しい試みとして身近な小公園全体を花で飾る「ふれあい花広場」の整備に取り組んでいきたい。

9月14日に設置された決算特別委員会は、3つの分科会に分かれて、審査を行いました。
9月22日に行われた市長との質疑の中から、いくつかを紹介します。

Q 新北九州空港への鉄道アクセスの検討状況は。また、新空港に一番近いJR杵網駅周辺の整備についてはどう考えているのか。

A 鉄道アクセスについては3ルート案に絞り込んでいるが、採算的に厳しいとの試算が出ている。しかし、国の審議会において、鉄道整備に、一定の公的資金を導入する必要性が示されるなど明るい材料もあり、今後調査を進めたい。また、JR杵網駅周辺については、今後早急に整備計画をまとめ、地元の理解を得て今年度中に都市計画決定したい。都市計画道路や駅舎等についても、JR九州など関係機関と協議していく考えである。

Q 市は、これまで遠賀川河口堰や耶馬溪導水など、市をあげて水源確保に取り組んできた。これまでの水道事業をどう評価しているのか。

A 本市の水道事業は大湯水や赤字再建団体を経験する中で、遠賀川河口堰や耶馬溪導水などの水源開発や様々な経営努力に積極的に取り組んできた。その結果、安定供給を達成するとともに政令市で最も安い料金を維持している。今後は、この貴重な財産をまちづくりに活かしていきたい。

Q 建築基準法改正に伴う建築確認（中間検査）業務の改善や体制強化への対策は。また、竣工届が出されていない建築物への安全確認対策は。

A 阪神・淡路大震災では施工不良により多くの建築物が倒壊したため、10年度建築基準法改正で中間検査制度が導入された。市では、検査体制の充実に向け、本年4月に検査係を新設して職員を増員し、5月から住宅や中高層建築物など一定の構造、規模を有するものを対象に中間検査を開始した。また、建築物の安全確認は、工事完了検査申請のあったもの全てに実施しているが、未申請のものも見受けられるので、受付窓口でのチラシの配付や検査1カ月前の建築主への通知など検査制度の周知を行い、検査実施率の向上に努めたい。

Q 不登校対策として、少年相談センター等へ相談に来ない児童・生徒に年齢に近い学生などを派遣する「ふれあいフレンド事業」を検討してはどうか。

A 本市では、これまで保護者との懇談会やふれあい教室など様々な不登校対策に取り組むとともに、学校などでの教育相談活動についても充実させてきた。家庭に引きこもりがちな児童・生徒にとって、兄や姉の世代に相当する大学生などに気軽に話し相手となってもらうことは、不登校状態の回復に結びつくのではないかと考えているため、今後、実施を検討していきたい。

Q 本市は福岡市との連携など広域行政に積極的に取り組んでいるが、下関市との連携について、今後どのように取り組む考えか。

A 8月に下関市長と第4回目の会談を行い、下関市から本市馬島への給水や、「海峡ゆめタワー」と「門司港レトロ展望室」をセットにした割引周遊券の販売などの具体的な連携施策をまとめた。本市と歴史的、経済的にもつながりが深く、関門海峡というかけがえのない観光資源を共有する下関市との連携は、本市の発展に極めて重要であり、今後とも両市で共通の諸課題に取り組みながら、具体的な施策をさらに展開していきたい。

Q バリアフリーのまちづくりを推進するために、縦割り行政の弊害を克服し、総合的に対応できる組織づくりを考える必要があるのではないかと。

A 本市では関係11局の課長などで構成される「福祉のまちづくり庁内検討委員会」を設置し、バリアフリーのまちづくりに関する検討や調整を進めている。この委員会では保健福祉局、建設局、建築都市局の3局がそれぞれの分野で窓口になるとともに共同で事務局を運営しており、福祉都市環境整備要綱の見直し、バリアフリーマップの作成などの成果を上げてきている。今後とも同委員会を有効に活用し、ハード・ソフト両面からバリアフリーのまちづくりに取り組むたい。

PCB処理に積極的行動を！

議員

国が本市に立地予定の広域廃棄物処理センターの中で、PCB（ポリ塩化ビフェニール）処理が行われると聞いたが、本市の循環型社会づくりへの取り組みをさらに発展させるため、PCBの処理事業を積極的に推進すべきではないか。

市長

国家事業としてPCB処理施設が立地されることについては、環境未来都市を目指す本市として前向きに対応し

たい。PCB処理については、諸外国の基準値より厳しい基準をクリアした処理技術が確立されているが、処理施設の立地に当たっては、集荷及び管理も含め、安全性の確保が重要な前提条件である。今後、これらの安全性を確保するため、国や関係機関と十分調整し、市としても万全を期して対応する考えである。

（仮称）到津の森公園の整備計画は？

議員

（仮称）到津の森公園については、園内の通

路等をバリアフリー化するため、障害者団体等の意見を聞くべきではないか。

建設局長 公園整備に当たっては、存続要望署名を行なった自治会や福祉関係団体など五十

二団体への意識調査やヒアリングを実施し、幅広く市民の声を聞きながら、「自然・動物・人にやさしい施設づくり」を進めている。

なかでも、園内の施設整備については、「福岡県福祉のまちづくり条例」に基づき、エレベーターの導入、園内通路の勾配の緩和、障害者や乳幼児に配慮した多目的トイレの設置など、バリアフリー化に十分配慮することとしている。



（仮称）到津の森公園 完成予想図

他に、次の項目にわたっても議論がありました

- ホームレス問題
- 高齢化社会対策
- 市立病院の今後のあり方
- 地域文化財の保護と活用
- 県立武道館の整備
- 放置自動車防止条例の制定
- 水道事業の今後の展開
- 市営駐車場の利用促進策
- 中高年者の雇用対策
- 帆柱ケーブルのバリアフリー対策

高校生議員参上!



⑦議会終了後、市長を囲んで

36項目の質問と答弁の中から一部を紹介します。

北九州博覧祭

Q 北九州博覧祭を地元から盛り上げるため、市内におけるPRに もっと力を入れるべきではないか。

A 博覧祭は200万人以上の集客を目指しているため、地元はもとより全国規模でのPRが必要であると考えている。地元には計画づくりの段階から参画をお願いするとともに出前講演を実施するなど、PRに力を入れている。

Q 入場料金は高すぎるのではないか。

A 小・中・高校生については料金を特に安く設定し、全期間入場できる券や午後4時以降の入場が割安となる券なども用意している。また、前売券にはスペースワールドや帆柱ケーブルとのセットで大幅割引となる特典をつけている。

福祉施策

Q JR小倉駅周辺以外の場所ではバリアフリーが進まず、市内の道路等で、高齢者や障害者の通行に際して不便な箇所があるが、この状況をどう考えるか。

A 本市では全国に先駆けて、小倉都心地区のバリアフリー化を3年かけて進めてきた。今後は、この取り組みを市内各地に広め、高齢者や障害者に暮らしやすいまちづくりを目指していきたい。

Q 高齢者が安心して暮らすために暮らしをどのように進めていくのか。

A 高齢者対策を進めるには、地域住民の協力によって高齢者を支え見守る仕組みをつくるのが重要である。本市では市民福祉センターを中心に、北九州方式という小学校区・区・市が一体となった保健・医療・福祉のネットワークづくりを進めている。

青少年の非行対策

Q 青少年犯罪が大きな社会問題となっているが、何か対策はあるのか。

A 青少年犯罪は、家庭、教育など社会全体に関わる問題であるが、市の取り組みとしては、少年相談センターや児童相談所などで、非行、不登校の相談に応じる相談体制を整え、24時間での対応や、警察や学校と連携した立入調査、巡回補導などを行っている。今後は、総合的に相談を受け入れる体制づくりとして(仮称)子ども総合センターの設置や地域ぐるみで非行を未然に防ぐ仕組みを考えていきたい。

紫川マイタウン・マイリバー整備事業

Q 紫川に橋をかけることにより周辺地域に経済効果はあったのか。それよりも道路などを整備した方がよいのではないか。

A 紫川は、下流部に狭い部分があり、これが昭和28年の大水害をもたらした。このような洪水を防ぐため、上流に新しいダムを建設し、下流では川幅を広げ、川底を深くするなどの治水対策が必要となった。橋の架け替えは、川幅を広げる際に必要となったもので、水害予防が一番の目的である。また、本市は紫川マイタウン・マイリバー整備事業を総合的なまちづくりとして進めており、そのなかで、周辺の道路や公園なども整備していく。

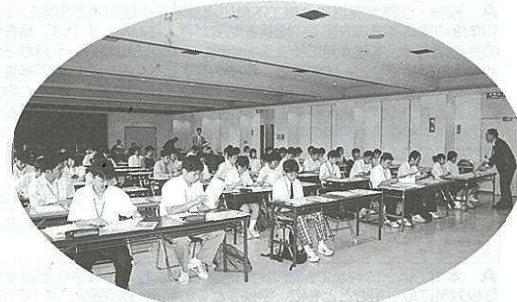
ほっ



若い世代に市政や市議会の仕組みなどの理解を深めてもらおうと、7月30日に市議会本会議場で高校生議員が開催されました。市内の各高等学校等から推薦された64人の高校生議員は、通常の市議会と同様の総務財政、経済港湾、厚生消防、環境教育、建設交通、建築水道の各委員会に分かれて事前に2回の勉強会を行い、36項目の質問を作成しました。当日は、傍聴席もほぼ満席で多くの市議会議員も見守るなか、高校生の代表者が市長や関係局長へ鋭い質問をぶつけ、本会議さながらに白熱した議会となり、予定時間を大幅に上回り閉会しました。これらの模様を高校生の声も交えながら、順を追って紹介します。

⑥いざ、本番

- この議会に出席し、貴重な体験ができて本当によかった。
- この議会をきっかけにこれからの「まちづくり」に積極的に参加したい。
- 議席に座って、本当に議員になった気分だった。
- 答弁は、時々難しい所もあったが、わかりやすかった。
- 人前で話すことで緊張したが、度胸がついたと思う。
- いきなり本番ではなく、事前に勉強会を2回したことがよかった。
- 市長を困らせることができ、うれしかった。



①初めての勉強会

- 市政や市議会の仕組みがよくわかった。
- みんなすごく緊張してるみたい。



⑤本番当日の受付

○みんな大丈夫かな。



④2回目の勉強会

テクノイドセンターで車いすの試乗中。

- 北九州がどのようなことに力を入れているがよくわかったわ。
- 多くのことを学ぶことができほんとに勉強になった。



③委員会に分かれて質問づくり

- みんな北九州市が好きなんだということがわかった。
- 他の学校の人達との触れ合いが楽しかった。



②議長に立候補する人はいませんか?

○私もなりたかったのにクジではずれちゃった。



可決した意見書・決議

市議会では、市政や市民の生活にかかわりの深い事柄について改善等を求めるため、意見書や決議を国等へ提出することができます。

今定例会では、10件の意見書・決議が提出され、うち5件を可決しました。その件名を紹介します。

- 特定非営利活動法人の税制支援措置を求める意見書
- 育児・介護休業法の拡充と保育施策の拡充を求める意見書
- ハンセン病元患者の人権回復と社会復帰、生活支援策の充実を求める意見書
- 自然エネルギー発電促進法の早期制定を求める意見書
- 道路整備予算の確保及び整備の促進に関する意見書

議会中継が今後も継続されます。

平成12年2月市議会定例会で試行実施した議会中継に関するアンケート調査の結果がまとまりました。

その結果、今後も予算議会における市長提案理由説明と代表質疑を、ケーブルテレビで中継していくことが決まりました。

市議会ではな-12



アンケート結果

1 調査票回収状況

(1)世帯調査（ケーブルテレビ加入世帯）

調査対象世帯	有効回収数	有効回収率
1,500	318	21.2%

(2)個人調査（区役所来庁者及び本会議傍聴者）

調査予定者	有効回収数	有効回収率
1,000	1,188	118.8%

2 調査結果

(1)市議会中継についての評価

区分	よい	よくない	その他
世帯調査	87.4%	0.9%	11.6%
個人調査	82.9%	1.0%	16.0%

(2)市議会中継についての関心

区分	ある	ない	その他
世帯調査	87.7%	10.1%	2.2%
個人調査	61.7%	7.7%	30.5%

(3)市議会中継の今後の継続について

区分	続けるべき	続けなくてよい	その他
世帯調査	85.5%	1.9%	12.6%
個人調査	80.8%	1.4%	17.7%



市議会を傍聴しませんか！

市議会の活動状況を知るために、本会議や委員会を傍聴することができます。

傍聴の受付は、会議の始まる一時間前からです。

傍聴の定員は、議場（本会議）二百二十七人、各委員会室十人です。

会議の開催日時などのお問い合わせは、市議会事務局総務課（五八二一―二六二）へ。

なお、市議会ホームページでも開催日程をお知らせしています。

アドレス <http://www.city.kitakyushu.jp/~k4100030/>
 (市のホームページからもアクセスできます。)

請願・陳情の審議結果

○請願「介護保険実施へ向けての緊急改善について」のうち介護見舞金支給事業の廃止反対等の項目 **〔不採択〕**

○陳情「市立門司病院の縮小反対について」 **〔不採択〕**

○陳情「居宅ねたきり年長者等介護見舞金支給事業の継続について」 **〔不採択〕**

○陳情「居宅ねたきり年長者等介護見舞金支給事業の存続・拡充について」 **〔不採択〕**

○陳情「居宅ねたきり年長者等介護見舞金支給事業の存続等について」 **〔不採択〕**

○陳情「家用電気工作物保安監督業務委託契約の改善について」 **〔不採択〕**

○陳情「市立戸畑病院の診療科目廃止の撤回及び市民要望に基づく存続と充実について」のうち診療科目廃止撤回の項目 **〔不採択〕**

このほか、請願68件、陳情108件は継続審査になりました。

お知らせ

▼市議会では、視覚障害（一級か二級）のある方に、市議会たよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。

ご希望の方は、ご連絡下さい。

▼市議会たよりに関するお問い合わせやご意見、感想をお寄せ下さい。

▼次の定例会は十二月開催予定です。